

青年対策交流集会に参加して

2月24日～26日の3日間で青年対策交流集会に参加しました。1日目に鈴木委員長による「全港湾の歴史」についての講義、2日目に真島委員長による「原子力発電所建設阻止の闘い」についての講義を受けました。この2つの講義から私が学んだことは、闘い続けることの重要性です。全港湾の歴史についての講義を受けて、多くの闘争があったことを知りました。戦後間もないころに組合というものがまだ確立されていない中での組織の設立、様々な権利を勝ち取るための闘いなど、容易ではなかったことが想像できました。また、原発建設阻止の講義では、35年にも及ぶ地元の方々の活動、意志があったからこそその勝利だったと思いました。どちらの歴史も闘い続けたことによる結果なのだと感じました。この2つの講義の共通点として、青年層の力が良い結果を生んだことも学びました。また、この2つの講義を受けての分散会の話し合いでは様々な議論がありました。他の地方では今なにが問題なのか、同じような問題に対してどのように対処しているのか等、非常に勉強になりました。特にどの地方でも起きていて印象に残ったのは、我々よりも更に若い世代の組合に対する意識の低下です。組合とはなにか、何をしていた何のために存在しているのか分かっていない人もいるそうです。そういった人たちに我々の世代が声をかけ、呼びかけていき、団結を深めなければならないと痛感しました。そうすることが2つの歴史のように、若い力でこれからの時代を創っていくのだと思います。そのためにもこの青年対策交流集会は大切なのだと実感しました。このような素晴らしい集会に参加させていただきありがとうございました。

日本海地方新潟支部

祝 剣斗